

公益社団法人
福島県トラック協会 広報誌

わだち

2023年

1

vol.504

トラックは生活と
経済のライフライン



新年のご挨拶

迎春

02 県ト協

- 尚志高等学校へ自転車用ヘルメットを贈呈
- 令和4年度 第5回理事会を開催
- 「県ト協セーフティチャレンジ」申し込みのご案内
- 令和5年度政府予算対策要望活動について
- 令和4年度トラック運送事業者のための人材確保セミナーを開催
- 県ト協各支部が「労働時間管理セミナー」を開催
- 令和4年度 第1回適正化委員会を開催
- 支部・自社ナ斯巴・貸出機器における適性診断（初任・適齢）の受診についての注意

11 適正化

- 新たな改善基準告示説明会を開催
- 令和4年度陸運事業者のための安全マネジメント研修を開催

14 支部

- 支部だより

12 青年部会

- 青年部会長が福島学院大学で講演を実施

12 事業所

- 磐城通運株式会社が「エコドライブ活動コンクール」で国土交通大臣賞を受賞

11 トピックス

- 「走る前、左後輪点検キャンペーン」の一環として福島運輸支局長と福島県トラック協会長が会員事業所を視察

県 ト 協

尚志高等学校へ自転車用ヘルメットを贈呈

県ト協は、12月1日(木)に県警本部に協賛して郡山市の尚志高等学校サッカー部員の自転車通学生に対して自転車用ヘルメットを贈呈した。当事業は、知名度が高い同校サッカー部員を通じ自転車利用時のヘルメット着用の機運醸成を図ることを狙いとしている。贈呈式は同校で行われ、県警本部 大高 新一 交通部長による事業概要説明に引き続き、県ト協の 松尾 活秀 副会長が挨拶し、サッカー部代表の 藤原 肇人 君にヘルメットとふくトラくんの夜光反射材を手渡した。



CONTENTS

新年のご挨拶
県 ト 協

公益社団法人福島県トラック協会……………	3
公益社団法人福島県トラック協会 会長 佐藤 信成……………	4
東北運輸局福島運輸支局 支局長 有路 仙之……………	5
福島県知事 内堀 雅雄……………	6
福島県警察本部 交通部長 大高 新一……………	7
尚志高等学校へ自転車用ヘルメットを贈呈……………	2
令和4年度 第5回理事会を開催……………	8
「県ト協セーフティチャレンジ」申し込みのご案内……………	9
令和5年度政府予算対策要望活動について……………	10
令和4年度トラック運送事業者のための人材確保セミナーを開催……………	10
県ト協各支部が「労働時間管理セミナー」を開催……………	10
令和4年度 第1回適正化委員会を開催……………	11
支部・自社ナスバ・貸出機器における適性診断（初任・適齢）の受診についての注意…	13
会員日より……………	13
1月の行事予定……………	18
適 正 化	
新たな改善基準告示説明会を開催……………	11
令和4年度陸運事業者のための安全マネジメント研修を開催……………	11
支 部	
支部日より……………	14
青年部会	
青年部会長が福島学院大学で講演を実施……………	12
事業所	
磐城通運株式会社が「エコドライブ活動コンクール」で国土交通大臣賞を受賞……………	12
陸 災 防	
『ロールボックスパレット及びテールゲートリフター等による荷役作業安全講習会』…	16
技能講習等実施予定……………	18
お 知 ら せ	
本年も東北交通共済をよろしくお願いいたします……………	17
交通事故統計……………	18
ト ピ ッ ク ス	
「走る前、左後輪点検キャンペーン」の一環として福島運輸支局長と福島県トラック協会会長が会員事業所を視察…	11

当協会広報誌『わだち』では会員事業所の皆様に役立つ情報の提供に努める所存ですので、本年もご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

謹賀新年

皆様に幸多き年となりますよう お祈り申し上げます。

令和5年 元旦

公益社団法人福島県トラック協会

会長 佐藤 信成 (丸カ運送株)

副会長

蓬田 隆 信 (福島倉庫株)

小野田 弘 明 (郡山運送株)

橋本 一 美 (有)ハシコー梱包運輸

菅野 高 志 (有)菅野運送店

遠藤 秀 弥 (中村貨物運送株)

松尾 活 秀 (三つ山運送株)

理事

佐藤 勝 則 (JAパールライン福島株)

佐藤 光 俊 (福島運送株)

鈴木 勝 文 (福島陸運株)

佐藤 仁 (株丸や運送)

佐伯 由紀子 (株サエキ輸送)

佐竹 哲 (日本通運株郡山支店)

工藤 哲 也 (第一貨物株郡山支店)

安齋 豪 之 (拓進運輸株)

高橋 哲 也 (あだち運送株)

上石 美代子 (郡山トラック運送株)

菊池 良 造 (株海老屋運送)

古川 圭 一 (株郡山南部運輸)

緑川 直 人 (小田川運輸有)

細谷 博 之 (会津本郷貨物運送株)

大竹 博 史 (株ユミタ運輸)

西山 由美子 (株丸東)

林 富士雄 (八島運送株)

伊藤 浩 一 (いわきカーゴ株)

割谷 明 裕 (岡田陸運株)

鈴木 孝 雄 (磐城通運株)

大泉 元 一 (有)大泉運輸

専務理事

荒川 孝 一

常務理事

田母神 正 広

監事

宮崎 泰 明 (スナンエキスプレス株)

大内 孝 浩 (ダイトーロジスティックス株)

吉田 健 二 (成田運輸株)

上田 由 幸 (株ケー・アンド・ワイ)

中野 光 (遠野運送株)



新年のご挨拶

公益社団法人福島県トラック協会
会長 佐藤 信成



新年あけましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、平素より当協会の事業活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、コロナ禍においての物価高騰並びに燃料価格の高止まりと厳しい経営環境の中、エッセンシャル事業者として、経済活動の再生に向けて日夜ご尽力されている会員の皆様におかれましては心より感謝申し上げます。

さて、本年は、2023年問題に直面する年ではありますが、来る2024年問題の労働時間の上限規制に関しても対策を講じなければならない年でもあります。来年度に施行される改善基準告示の改正に伴い、適正運賃収受に向けての交渉をはじめ、トラックドライバーの過労死防止等の対策として、労働環境の整備と労働条件の見直しも併せて進めることが急務であり、課題多き重要な年になるといえます。

改善基準告示の改正に触れましたが、この度新たに、厚労省より荷主への対応が追加されます。荷主（特に着荷主）が起因する理由で告示が守られない実態を主張した場合、発・着荷主に対し、「労働基準監督署から配慮を要請する」とあり、納品先の着荷主においての荷待ち時間、付帯作業の改善が期待されます。

また、業界を取り巻く労働環境の改善には、発荷主だけでなく着荷主の理解が鍵となります。着荷主先での待機時間、荷卸し作業の労働の対価の支払いは本来、着荷主側にも負担する義務があるのだと考えます。

前年度の「標準的な運賃」の届出率が、58.4%と低い水準だったことに対し、本年度は、約90%と高い水準に推移しており、適正運賃の収受実現に向けた、会員の皆様の国への期待が表れている結果であるといえます。資本主義の根幹は、自由競争のもとで利潤を得ることが目的ですが、「標準的な運賃」のタリフを基準に「最低輸送料金法」の制定こそが業界の改革であり、秩序を維持する上でも必要不可欠なものであります。

当協会におきましても本年は、輸送業界の現状を伝え、法の制定を実現させるべく国への要請をより一層強くする年にしてまいりますが、様々な環境の改善には、各々の経営者の意識改革が最も重要であると考えます。飲酒運転の根絶、冬期間に多い脱輪事故を含む交通事故削減、労働災害事故防止等、万全な取り組みを再度お願い申し上げます。

会員の皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げまして新年の挨拶といたします。



「令和5年・新年のご挨拶」

東北運輸局福島運輸支局
支局長 有路 仙之



新年、明けましておめでとうございます。

令和5年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会 佐藤会長はじめ会員の皆様方には、日頃より国土交通行政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方には、物流を通じて社会に貢献されるとともに、交通事故防止や環境対策にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、物流の面では巣ごもり需要の増加等を背景に輸送の小口化・多頻度化など、私たちの生活は大きく変化しております。このような状況のなか、地域の生活や経済活動を支えるため、献身的に使命と責任を果たしていただいている会員の皆様、トラックドライバーの皆様に重ねて感謝を申し上げます。

さて、東日本大震災、東京電力福島第一原発事故の発生から間もなく12年となります。特定復興再生拠点区域の避難指示解除や産業団地立地等、関係皆様のご尽力により被災地の復興に向けた取組は着実に進んでおりますが、真の復興への道のりは未だ半ばにあると言わざるを得ません。こうした中、県内の除染等により発生した大量の汚染土壌等廃棄物の中間貯蔵施設への搬入が進められたこと、また被災地域の物流等経済活動を支えられていることに感謝申し上げます。「福島の復興」が更に進むことを願うとともに、福島運輸支局としても、引き続き被災地の方々に寄り添った復興施策を実施してまいります。

トラック運送業界においても、新型コロナウイルス感染拡大による影響はもとより、従前からの課題である取引環境改善、運転者不足や働き方改革への対応に加え、今般の燃料価格、物価の高騰により依然として厳しい経営環境が続いているものと認識しております。

福島運輸支局といたしましては、平成27年に設置した「トラック輸送における取引環境・労働時間改善福島県協議会」において、関係皆様のご協力をいただきながら、トラック事業者と荷主との取引環境の改善やドライバーの長時間労働の是正等の課題解決に向けた取組を進めてまいります。運転者不足については、支局長による高等学校訪問をはじめとした人材の確保・育成に向けた取組を引き続き実施し推進してまいります。

また、国土交通省が告示した「標準的な運賃」は、トラックドライバーの労働条件を改善し、トラック運送事業がその機能を維持しながら国民生活と経済を支えていくために、法令を遵守して経営する際の参考となる運賃を示すことを目的としており、貴協会のご尽力により多くの事業者様が届出されているところです。福島運輸支局としても、今後も標準的な運賃が実勢運賃に反映されるよう、トラック事業者、荷主企業の皆様に対して浸透を図る取組を行ってまいります。

自動車運送事業にとって、「輸送の安全・安心の確保」は最大の使命であり、そのため、企業の経営トップから現場乗務員に至るまで輸送の安全の重要性を認識し、絶えず安全性の向上に企業全体で取り組むことが重要です。福島運輸支局といたしましても、「安全」と「安心」を根幹に据えて、貴協会と連携しながら各種課題に取り組んでまいります。

運送業界を取り巻く課題は多岐にわたり、環境意識の高まりや新型コロナウイルス感染症により変化した社会の状況を踏まえ、DXやカーボンニュートラルに向けた動きも活発化しております。福島運輸支局といたしましても、貴協会をはじめ関係機関と連携を図りながら、自動車運送事業における安全対策に万全を期すとともに、事業の活性化に向けた取組等、課題の解決に向けて努力してまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福島県トラック協会並びに会員事業者皆様方の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



ふくしまプライドで逆境を乗り越え、 ふくしまを『希望の地』へ

福島県

知事 内堀 雅雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様には、日頃から本県の交通行政全般にわたり、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本県の物流サービスの重要な担い手として、産業活動を支え、県民生活の向上に御尽力いただくとともに、運送事業を通じた交通安全の推進に積極的に取り組まれていることに対し、深く感謝申し上げます。

私は、去る10月30日の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様の御支持を頂き、引き続き、県政を担わせていただくこととなりました。選挙期間中は、県内59市町村をくまなく巡り、県民の皆様から福島復興と地方創生を願う切実な声や、県政に対する様々な思いを直接伺いました。そうした皆様からの御期待をしっかりと胸に刻み、福島の未来を切り拓くため、これからも全力で挑戦を続けてまいります。

福島県は、地震・津波・原発事故・風評被害という未曾有の複合災害からの復興はもとより、急激な人口減少、度重なる自然災害からの復旧、新型コロナウイルスの感染拡大防止と地域経済の維持・再生、さらには原油価格・物価高騰への対応など、幾多の困難な課題を抱えております。

そうした中で、これまでと同じ挑戦を続けていても、福島の未来は切り拓けません。だからこそ、挑戦を絶えず「シンカ（進化・深化・新化）」させながら、本県が直面している様々な逆境を乗り越えることにより、「ふくしまプライド。」を更に光り輝かせていくことが重要と考えております。

まず、震災と原発事故からの復興・再生につきましては、時間の経過に伴って課題も複雑化・多様化しており、新たな課題も顕在化してきております。そのため、復興の状況に応じた被災者の生活再建や事業・生業の再生、帰還に向けた環境の整備などに取り組むとともに、廃炉と汚染水・処理水対策や、根強く残る風評の払拭と風化の防止、移住・定住の促進など、様々な課題に全庁一丸となって取り組んでまいります。

次に、急激な人口減少対策につきましては、結婚から子育てまでの切れ目のない支援や、子どもたちの発達段階に応じた資質・能力の育成と「福島ならではの」教育を推進していくほか、食・運動・社会参加を柱とする健康づくりに力を入れ、誰もがいきいきと暮らす、全国に誇れる健康長寿県を目指してまいります。

また、農林水産業や商工業、観光業など、既存産業の振興はもとより、福島イノベーション・コースト構想による新産業の創出・集積等を通じて、若者の県内定着・還流や魅力ある雇用の場づくりなどに取り組んでまいります。

さらに、長引く新型感染症につきましては、引き続き、県民の皆様に対し基本的な感染防止対策の徹底をお願いするとともに、国や市町村、関係団体等と緊密に連携しながら、感染拡大の防止と確実な医療の提供に全力で取り組んでまいります。加えて、今般の原油価格や物価高騰等に対しては、積極的な需要喚起策や経営安定化に向けた金融支援などにより、県民生活の安定と地域経済の維持・再生を図ってまいります。

これらの取組を含め、今年度から新たにスタートした県の総合計画に掲げた目標を、一つ一つ着実に実現させながら、福島の定義を「被災の地」から「希望の地」、さらには「復興の地」へと変えるべく、全力で福島の未来を切り拓いてまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、新年の御挨拶といたします。



年頭の御挨拶

福島県警察本部

交通部長 大高 新一



新年、明けましておめでとうございます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様方には、日頃から交通安全活動をはじめ、警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御支援をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

昨年中は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、各事業所における安全運行管理はもとより、当該機関誌「わだち」を通じた交通安全意識の高揚、セーフティチャレンジ事業への参加及び事故防止コンクール表彰などによる交通事故防止活動を通じた実践的な安全運転教育、さらには、東北ハイウェイ・セーフティ作戦による高速道路における交通事故防止活動など、協会一丸となって様々な交通安全活動を推進され、県内の交通事故防止に多大な御尽力をいただきました。

特に、福島県薬剤師会と連携し、薬局を利用する高齢者に対して夜光反射材を配布する事業のほか、新たな事業として、福島県のサッカー強豪高校である尚志高等学校のサッカー部に対する自転車用ヘルメットの寄贈、自転車利用時のルールに関するチラシの制作など、県警察等と連携した各種交通事故防止活動を展開していただき、改めて御礼を申し上げます。

こうした皆様方の活動のお陰をもちまして、県内における交通事故の発生状況につきましては、年々減少傾向で推移しているところですが、昨年10月には、県内で交通死亡事故が連続したことを受けて、平成29年以来となる「交通死亡事故多発全県警報」が発令されたほか、11月に入ってから交通事故が連続し、特に福島市内では、社会的な反響の大きい高齢運転者による死亡事故が発生いたしました。

また、昨年発生した交通死亡事故を分析してみますと

- 事故死者の約6割を65歳以上の高齢者が占めていること
- 約半数が夜間に発生していること
- 四輪車乗車中の死者のうち、約3割の方がシートベルトを着用していなかったこと
- 交差点での死亡事故が前年に比べて増加していること

などの課題も認められることから、県民を取り巻く交通情勢は決して楽観できる状況にないと考えられます。

このため、県警察では、本年の重点目標の一つに「総合的な交通事故防止対策の推進」を掲げ、悲惨な事故から県民の尊い命を守るため、地域と一体となった交通安全活動を継続的に推進するとともに、多角的見地から交通事故の発生実態や交通情勢の変化を分析し、分析結果に基づいた各種重大交通事故防止対策の推進、悪質・危険運転者の根絶に向けた交通指導取締りの強化、安全で快適な交通環境の整備、高齢者をはじめとした効果的な運転者施策の推進など、総合的な対策により交通事故を抑止し、秩序ある安全で快適な交通社会の実現を図ることとしております。

皆様方におかれましては、本年も引き続き、県警察との一層の連携をお願い申し上げますとともに、交通安全意識の高揚、啓発活動の推進などにつきまして、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、公益社団法人福島県トラック協会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝と御多幸をお祈りいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

以 上

県 ト 協**令和4年度 第5回理事会を開催**

福島県トラック協会 令和4年度第5回理事会が11月26日(土)に郡山市「ホテルハマツ」において、理事23名、監事5名が出席し開催された。

【報告事項】

- 報告事項の1 「標準的な運賃」届出状況について
11月16日現在の県内届出状況及び10月末までの東北ブロック内の届出状況について報告した。
- 報告事項の2 「Gマークラッピングトラック」協力事業者について
令和4年度の協力事業者 (株)ユミタ運輸、(株)ケー・アンド・ワイ) について報告した。
- 報告事項の3 「令和4年度物流セミナー」について
令和4年度物流セミナーの開催案について報告した。
- 報告事項の4 ふくしまゼロカーボンDEY! 2022ブース出展結果について
ふくしまゼロカーボンDEY! 2022のブース出展結果について報告した。
- 報告事項の5 東北運輸局長・福島運輸支局長表彰について
東北運輸局長・福島運輸支局長表彰の受賞者について報告した。
- 報告事項の6 支部主催「労働時間管理セミナー」について
支部主催「労働時間管理セミナー」の開催報告、開催予定について報告した。
- 報告事項の7 燃料価格高騰に伴う対応について
福島県及び県内各市町村の燃料価格高騰に伴う対応について報告した。

【議 題】

- 1号議案 総務委員会の答申について（令和5年度協会費の会員負担軽減対策について）
今般、燃料価格の高騰によって厳しい経営を余儀なくされている会員事業者に対して、協会として何らかの支援をする必要があると判断し、令和5年度に限り、協会費を減額し徴収する旨提案し可決された。
- 2号議案 協会各種規程の整理について
県ト協の各種規程の整理について提案し可決された。
- 3号議案 入会会員及び退会会員について
3社の入会、5社の退会が可決された。（承認後会員数1,247（賛助会員274含む））
- そ の 他 ①福島県トラック事業政治連盟対応について
福島県トラック事業政治連盟対応について報告、説明した。
②今後の行事予定について
県ト協本部及び各支部の予定を説明した。

県ト協

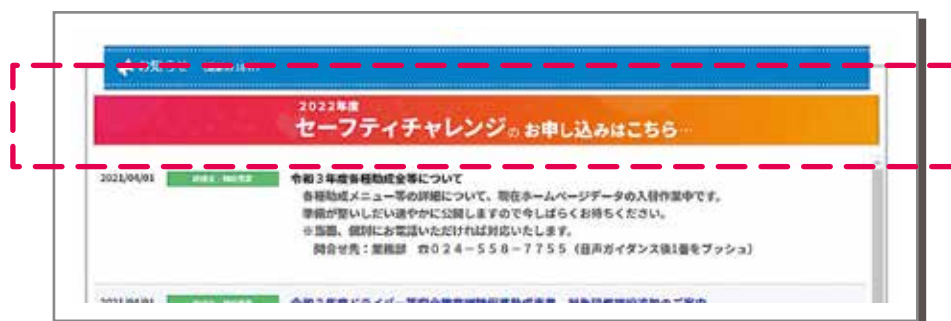
「県ト協セーフティチャレンジ」申し込みのご案内

令和4年度「セーフティチャレンジ」にご参加いただいた会員事業者様は、県ト協が実施する独自の表彰（事故防止コンクール事業所表彰）と本選抽選から洩れたチームを対象とした副賞抽選にご参加いただけますので、この機会に是非ご参加下さい！

参加方法については下記のとおりです。

※お手元に（一社）福島県交通安全協会から送付された「セーフティチャレンジ結果報告書」をご準備下さい。

① 県ト協ホームページTOPの「セーフティチャレンジのお申込みはこちら」をクリック



② 下記の画面が表示されるので、必要に応じて「手順書」をダウンロードしてご活用下さい。申し込みについてはこちらをクリックして下さい。



【申込期間】

令和5年1月1日(日)～1月22日(日)

※副賞抽選準備の都合上、**期限厳守**でお願いいたします。

【情報の取扱いについて】

今回ご登録いただきましたメールアドレスなどの情報は、当事業のお問い合わせに対するご回答のみに利用し、他の目的、他事業では一切利用致しません。

【お問い合わせ】

（公社）福島県トラック協会 担当：遠藤

☎ 024-558-7755 （音声ガイダンス「1」）



ホームページ

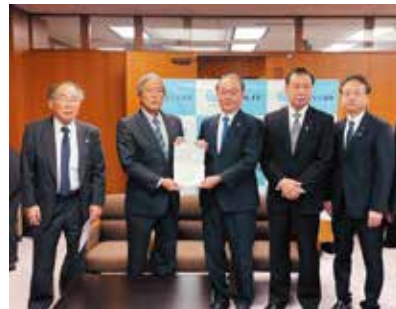
県ト協

令和5年度政府予算対策要望活動について

福島県選出国會議員を招いての福島県トラック事業政治連盟令和4年度懇親パーティが11月26日(土)に郡山市「ホテルハマツ」で開催され、①標準的運賃の法制化 ②高速道路料金の無料化措置 ③燃料価格高騰に伴う各種支援など8項目にわたる内容の要望書を各国會議員に手交した。又、11月30日(水)には、自民党福島県連が企画した関係省庁に対する要望活動に参加し、佐藤会長と荒川専務理事が国土交通省を訪問し国土交通大臣(代理:吉岡技監)に同様の要望書を提出し支援を要請した。



【懇親パーティー】



【要望活動】

県ト協

令和4年度トラック運送事業者のための人材確保セミナーを開催

令和4年度トラック運送事業者のための人材確保セミナーが12月16日(金)に郡山市「ビッグパレットふくしま」において、全日本トラック協会と福島県トラック協会共催のもと実施された。

今回のセミナーは昨今の新型コロナウイルス状況も鑑み、参加人数に制限を設け実施し当日は38名が参加した。

セミナーでは、(株)コヤマ経営 小山 雅敬 氏から「新時代」における運転者人材の実態、運転者人材等の採用、人材が定着するための職場環境の整備、働き方改革に対応した実務について講演が行われた。

参加者は求人のポイントや新卒採用の活用法、経営に役立つ助成金制度などについて学んだ。



県ト協

県ト協各支部が「労働時間管理セミナー」を開催

県ト協では令和5年4月からの「時間外労働60時間以上の割増率の改訂」、並びに令和6年4月からの「時間外労働時間上限の年間960時間規制」の対策を会員事業所へ広く周知するため、県内各支部で「労働時間管理セミナー」を開催した。

講演では働き方改革推進センター 特定社会保険労務士 田部 良夫 氏から「残業代未払請求リスク防止」、「賃金制度の改善」をテーマに講演が行われた。

各支部の実施日程は下記のとおり。

支部名	実施日	支部名	実施日
県北支部	12月 5日(月)	会津支部	11月28日(月)
県中支部	12月12日(月)	相双支部	12月 6日(火)
県南支部	11月24日(木)	いわき支部	12月13日(火)

県ト協

令和4年度第1回適正化委員会を開催

第1回適正化委員会が11月26日(土)に郡山市「ホテルハマツ」において委員8名が出席し開催された。橋本 一美 委員長のあいさつの後、議事に入り、9月末までの巡回指導の実施状況などの適正化事業実施機関に係る活動や福島県トラック協会としての各種講習会・セミナー等の適正化事業に係る活動について事務局から報告・説明があり、これをもとに委員から活発な意見交換がなされた。

適正化

新たな改善基準告示説明会を開催

新たな「改善基準告示」の説明会が11月30日(水)に郡山市「ビッグパレットふくしま」で午前・午後の2回に分けて開催された。

労働政策審議会の下に令和4年9月に設置された専門委員会で「改善基準告示」の見直し内容がまとまった。新たな「改善基準告示」は、労働基準法第36条による時間外労働の上限規制(年960時間)とともに令和6年4月から適用される。これらを踏まえ、本年12月の改善基準告示の改正前に説明会を行うこととなり、当日は計280名の参加者があった。

説明会では福島労働局 労働基準部 監督課 監察監督官 管家 紀男 氏による改善基準告示、改正の背景、改正の検討状況、改正内容についての説明が行われた。

当県トラック協会では今後も福島労働局と連携し、新たな「改善基準告示」の周知活動を行っていく予定である。

適正化

令和4年度陸運事業者のための安全マネジメント研修を開催

令和4年度陸運事業者のための安全マネジメント研修を12月13日(火)に郡山市「県中研修センター」にて陸上貨物運送事業労働災害防止協会 福島県支部と福島県トラック協会の共催で開催した。

当協会では初めての試みとなる当研修には86名の会員事業者が参加した。

研修では陸上貨物運送事業労働災害防止協会 安全管理士 堀野 弘志 氏から運輸安全マネジメントと労働安全衛生マネジメントシステムガイド(以下、「RIKMS」)の概要、一体的運用方法、リスクアセスメントについて説明がなされた。

参加者は運輸安全マネジメント、RIKMS、2つのマネジメントを一体的に運用することによって、事故や労働災害リスク低減につながることを学んだ。



【安全管理士 堀野 弘志 氏】

トピックス

**「走る前、左後輪点検キャンペーン」の一環として
福島運輸支局長と福島県トラック協会長が会員事業所を視察**

福島運輸支局では、大型車のホイール・ナット緩み等による車輪脱落事故を防ぐため、県ト協と協力・連携し「走る前、左後輪点検キャンペーン」を実施している。

同キャンペーンの開始にあたり、令和4年12月19日(月)に、丸永運送(株)本社営業所(西白河郡 矢吹町)にて、福島運輸支局長と福島県トラック協会長による日常点検の実施状況及び車輪脱落事故防止に係る各種取り組み状況の視察が行われた。

視察では有路 仙之 支局長の挨拶の後、丸永運送(株) 北畠 修司 社長から自社の取組みが説明され、佐藤 信成 会長から今回の視察の講評が行われた。

青年部会 青年部会長が福島学院大学で講演を実施

(公社) 福島県トラック協会 青年部会の鈴木 孝雄部会長が12月9日(金)に福島市「福島学院大学 福島駅前キャンパス」において同校情報ビジネス学科の2年生を対象に講演を行った。

この講演は、毎週違った企業経営者を招いて開催される講義「経営概論」のゲスト講師として依頼されたもので、令和3年度に実施した広報委員研修会(講師:同校 木村 信綱 教授)が縁となり実現した。

講演では鈴木部会長が自社(磐城通運株)を例にとった企業運営で大切にしていることや新入社員の育成についての話からトラック運送業界の現状や将来の展望など幅広いテーマについて、歴史的な経緯を踏まえた説明が行われ、受講生からは社員育成や次世代エネルギーの活用法などについて多くの質問が寄せられた。



【受講生との記念撮影】

事業所 磐城通運株式会社が「エコドライブ活動コンクール」で国土交通大臣賞を受賞



【表彰と楯を手にする鈴木社長・北郷常務】

磐城通運株は、全国1,613事業所が参加した交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団)主催の「2022年度エコドライブ活動コンクール」において、東北の事業所では初めての国土交通大臣賞を受賞した。

同コンクールは、全国の乗用車・トラック・バス・タクシー等を保有する事業者を対象に、「グリーン経営認証」の認証機関であるエコモ財団が、「エコドライブ普及連絡会」(警察庁・経済産業省・国土交通省・環境省)及び「エコドライブ普及推進協議会」(運輸関係等16団体で構成)の後援を受けて、優れたエコドライブ活動を実践している事業者を表彰する制度で、昨年度の優秀賞に続いての上位入賞となった。

表彰式は11月28日に内幸町ホール(東京)で行われ、同社の常務取締役 北郷 秀一氏に国土交通省総合政策局次長 岩月 理浩氏から表彰状と楯が授与された。

当日は、表彰式のほか、受賞4事業者によるエコドライブの取組紹介が行われ、同社は、「全員参加で取り組む エコドライブ活動」と題して、会社概要及び環境保全の取り組みについての講演を行った。

平成17年12月にグリーン経営認証を取得し、継続してエコドライブ活動を推進しており、「外部からの要請等による講演を実施して、環境保活動の推進に貢献している」「ふくしまゼロカーボン宣言事業へ継続的に参加している」「様々な取り組みを通してドライバーとのコミュニケーションを図っている」「社内で独自のエコドライブ・コンテストを実施することにより、取組意識の向上を図っている」等により、燃料使用量削減に努め、結果として交通事故の減少につながったことが評価されての受賞となった。

県ト協

支部・自社ナスバ・貸出機器における適性診断(初任・適齢)の受診についての注意

標記の件につきまして、支部において1月、2月の受診は、カウンセリングを2月末まで終了した場合は助成対象となります。3月以降終了する場合は助成の対象となりませんのでご注意ください。

助成金の交付を希望し、カウンセリングが3月以降になるときは、あらためて4月以降に初任・適齢診断の申し込みを支部にされますようお願いいたします。

また、適性診断受診票の利用は2月末までとなり、3月は利用できませんのでご留意ください。

※ 3月は受診票の利用が出来ません



初任診断・適齢診断は、2月末までに診断並びにカウンセリングを受けた方のみ助成対象となりますのでご注意ください。

会 員 だ よ り

12月号わだち掲載訂正



(株)富商は正会員入会の誤りです。改めて今月号に掲載し訂正させて頂きます。

新規入会事業所

支部	事業所名	代表者名	郵便番号	住 所	車両台数
会津	(株)富商	富山裕臣	969-3451	会津若松市河東町八田字漆沢122	10
いわき	(有)エムズカーリサイクルサービス	坂本弘美	971-8189	いわき市泉滝尻1丁目8番地の3	8
県中	(株)ナカノ商会東北支社福島支店	櫻内秀樹	969-1104	本宮市荒井字恵向13番1	30
県北	マルナカ(株)	遊佐憲雄	969-1404	二本松市油井字長谷堂69番地	5

退会会員事業所

支部	事業所名	支部	事業所名
県北	(株)ルナサンド二本松営業所	相双	(株)修和富岡営業所

新賛助会員事業所

支部	事業所名	代表者名	郵便番号	住 所	車両台数
県南	(株)ナカノ商会東北支社福島支店須賀川営業所	松立圭介	962-0001	須賀川市森宿字道久19-11	12
相双	(株)丸康総業櫛葉営業所	石垣祐二	979-0606	双葉郡櫛葉町上繁岡字小六郎24-2	5

会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
1	(株)イーストブレーン	代表者 (支店・営業所代表者)	舘 英二	青山智久
5	(株)二本松三和運送	代表者 (支店・営業所代表者)	水上洋一	菊地久子
18	東液流通(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	今泉道子	今泉利春
20	(株)北東急送	代表者 (支店・営業所代表者)	伊東雪子	伊東 務
21	マルハ運輸(株)福島営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	橋本庸輔	相馬 務
34	菱東運輸倉庫(株)新白河事業所	代表者 (支店・営業所代表者)	藤友壽則	手塚道春
38	一宮運輸(株)東北支店物流センター会津	事業所名 代表者 (支店・営業所代表者)	一宮運輸(株)東北支店物流センター会津 中鉢宏行	一宮運輸(株)会津営業所 小松山秋夫

支 部

支部だより



県北支部が「年末年始交通安全キャンペーン」を実施

県北支部（蓬田 隆信 支部長）は12月9日（金）に福島市「イオンタウン福島店 駐車場」にて福島北警察署、福島北地区交通安全協会、他各交通安全関係団体と協力し「年末年始交通安全キャンペーン」を実施した。

キャンペーンには蓬田支部長、佐伯副支部長他（女性部会3名）が参加し、買い物客に「交通安全の襷をかけたふくトラくんマスコット（小）」200個の配布を行い、交通安全の啓蒙活動を行った。



県中支部が交通安全活動基金贈呈及び交通遺児激励金を寄付

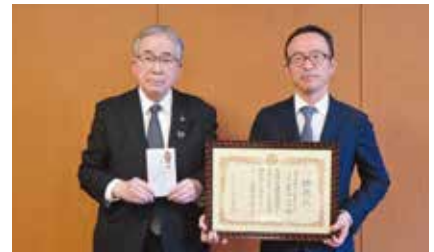
県中支部（小野田 弘明 支部長）が11月25日（金）に本宮地区交通安全協会（基金贈呈8回目）、11月28日（月）に田村地区交通安全協会（基金贈呈12回目）へ交通安全活動基金それぞれ3万円を贈呈した。また、12月1日（木）に、郡山市に交通遺児激励金20万円を寄付した。これは10月22日（土）に開催した安全大会の出席者から集めた善意に県中支部からの浄財を加えたもの。県中支部の交通遺児への寄付金は昭和57年から続き41回目。累計金額は8百20万円になる。



【本宮地区交通安全協会への贈呈】



【田村地区交通安全協会への贈呈】



【郡山市へ交通遺児激励金の贈呈】



県南支部が安全パトロールを実施

県南支部（橋本 一美 支部長）は、12月7日（水）に須賀川労働基準署管内6事業所、12月14日（水）に白河労働基準署管内東石地区会員6事業所の安全パトロールを実施した。

パトロールは、「令和4年度年末・年始労働災害防止強調運動」の一環として労働災害防止に向けた経営トップの決意と労働環境の改善の重要性を確認していただき労働災害、交通事故の絶無を目指すことを目的としている。

パトロールには橋本支部長のほか、伊藤 達夫 須賀川労働基準監督署長、川又 健一 白河労働基準監督署長が同行し、両署長からは、両管内の労災事故が多発していることから、年末・年始の繁忙期の労災事故防止に対する注意喚起、橋本支部長からは車輪脱落事故防止について注意喚起があった。





会津支部が「横断歩道とまっくなんしょ歩行者優先」ステッカーを作成

会津支部（菅野 高志 支部長）が会津方部各警察署、交通三団体連名で「横断歩道とまっくなんしょ歩行者優先」ステッカーを作成した。また、警察署より会津支部に加盟する事業所のトラックが、このステッカーを貼付するモデルトラックに指定された。



このステッカーは、赤べこのイラストと「横断歩道とまっくなんしょ歩行者優先」と歩行者保護を訴えるデザインになっている。福島県では信号機のない横断歩道で歩行者が渡ろうとする際に、4割以上の車両が一時停止しない状況となっており、このステッカーを貼付して走行することにより、そのドライバーや周囲を走る一般ドライバー等の横断歩行者に対する保護意識の更なる向上を図り、重大交通事故の抑止を図る。



ステッカーの完成に伴い、12月12日(月)に会津若松市「会津方部共同休憩所 駐車場」においてモデルトラック指定式が開催された。

式典では会津若松警察署長、会津支部菅野支部長、交通安全協会会長の挨拶の後、会津若松警察署長より菅野支部長へ指定書が交付された。その後、関係団体の関係者が会津支部会員事業所の5台のトラックへステッカーを貼付し、トラックはそれぞれの目的地へ出発した。



相双支部が令和4年度「年末事故防止研修会」を開催

相双支部（遠藤 秀弥 支部長）が12月9日(金)に陸上貨物運送事業労働災害防止協会と共催で南相馬市「ホテル丸屋グランデ」において「年末事故防止研修会」を開催した。

当日は佐藤 信成 会長、五十嵐 雄二 事務局長、支部会員事業所40名が参加した。

研修会では富岡労働基準監督署 寺嶋 徹之 署長から「労働災害発生状況・交通労働災害防止ガイドライン・令和5年4月からの時間外労働の60時間以上の割増賃金率改訂」について、福島県警察高速道路交通警察隊 南相馬分駐隊長 林 賢悦 氏から「高速道路における交通事故防止について」についての講演が行われた。



いわき支部が運行管理者（基礎・一般）講習会を開催



いわき支部（松尾 活秀 支部長）が11月28日(月)～30日(水)の3日間にわたり、いわき市「いわき共同休憩所」において、第2回運行管理者基礎講習会を開催。25名が受講した。

また、12月15日(木)に平中央自動車学校の協力の基、同会場において第3回運行管理者一般講習会を開催。当日は32名が受講した。

いわき支部では、運行管理者一般講習会の申込みが増加傾向にあることから、次年度の開催回数を年4回から7回へ増やし開催していく。

《厚生労働省補助事業》

『ロールボックスパレット及びテールゲートリフター等による荷役作業安全講習会』

ロールボックスパレット：カゴ車等（以下「RBP」という。）及びテールゲートリフター（以下「TGL」という。）は、物流の効率化や作業者の負担軽減などに貢献する人力荷役機器・装置の一つで、陸上貨物運送事業においても多く利用されていますが、近年これらに起因する労働災害が多く発生しています。

この現状を受け、陸災防ではRBP・TGL作業をメインテーマとした荷役作業安全講習会を開催することとしました。当該作業に従事する方はもちろん、関係事業場の荷主様にも積極的なご参加をお待ちしています。

～講習会の主な内容～

参加費
テキスト代
無料

開催日時

令和5年

2月10日(金) 13:30～16:30

開催場所

福島県トラック協会

県中研修センター

(郡山市喜久田町卸三丁目5番地)

TEL: 024-963-0780

定員

100名(先着順です。)

申込方法

参加申込は、下記参加申

込書にご記入し、陸災防福島県支部まで
ファックスでお申込み下さい。なお、受講
票等は送付いたしません。

申込締切

令和5年

1月31日(火)

但し、定員に達し次第締め切ります。

受講証明

講習会受講者には、
受講証明書を交付します。

内
容

- (1) RBP・TGLによる労働災害発生状況 福島労働局担当官
(2) RBP・TGL起因による労働災害の実態と特徴
(3) RBP・TGLの安全作業のポイント 陸災防安全管理士
(4) 荷役作業安全ガイドライン（RBP・TGL該当部分）

問合せ先

陸災防 福島県支部 TEL: 024-558-9011



(切り取らずにそのままご送信ください。)

陸災防 福島県支部 FAX: 024-559-1161

『ロールボックスパレット及びテールゲート等による荷役作業安全講習会』参加申込書

ふりがな 参加者氏名		
事業場名	(業種:)	
所在地	〒 -	
電話・担当者氏名	TEL () -	ご担当者:

※新型コロナウイルス感染症防止対策に十分配慮した上で開催いたしますが、マスクの着用等のご協力をお願いします。

※参加申込書にご記入いただいた情報は、本セミナー及び当協会からの情報提供以外には使用いたしません。



陸上貨物運送事業労働災害防止協会(略称：陸災防)福島県支部

Land Transportation Safety & Health Association Fukushima

新年あけましておめでとうございます

本年も



東北交通共済



をよろしくお願いいたします

東北交通共済はトラック運送業皆様の組合として相互扶助の精神に基づき 対人・対物・車両・搭乗者傷害の各共済及び交通事故防止事業、その他関連事業を運営しております。

自動車保険に思い悩んでいる

トラック協会会員の皆様全員集合!!

トラック協会と共に歩む全国トラック交通共済連合会加盟の東北交通共済にお気軽にご相談ください。

フェイス トウ フェイス! お会いしないとトラック共済の良さはお伝えできません。

悩む前にまずお電話を!! 保険設計、何でもご相談を!! 無料で承ります。



トラック共済の特徴

- ① トラック共済独自の掛金率。
- ② 台数割引は最大で10%、優良割引は最大で70%、業界トップクラスです。
- ③ 契約後の異動・減車・解約処理はすべて日割りで計算します。短期率の処理は行っておりません。
- ④ 優良割引率は損害率による算定方式を採用。共済金支払いによる優良割引率ダウンは1年度に20%を限度、また大口共済金支払い案件については2年度までの反映としており、過去の事故を長く引きずりません。
- ⑤ 車両共済は、掛金の割増なしで価格協定としており1年間で共済価格は減価しません。
- ⑥ 事故処理も契約者毎の担当者制を採用、事故担当者の顔が見える円滑な事故処理が可能です。
- ⑦ 車両の入替えに車種による制限はございません。
- ⑧ 決算剰余金が出た場合、利用分量配当金がでます。(過去最高16%)
- ⑨ 不測の事態に備え、対人・対物の再共済制度に加入しております。
- ⑩ 損保の代理店業務も行っておりますので損保商品(貨物補償制度・業務災害補償制度など)も取り扱っております。



ご相談はお気軽に福島支部・郡山支部までお寄せください。

ご連絡いただければ職員がお伺いしてご説明申し上げます。

☎ **福島支部** 担当 下田・齋藤

〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32 TEL 024-555-0107 FAX 024-555-0108

☎ **郡山支部** 担当 山崎・佐々木

〒963-0547 郡山市喜久田町卸3丁目7-2 TEL 024-953-3420 FAX 024-953-3421

又は 福島県トラック協会 荒川専務理事(東北交通共済理事)まで



1月の行事予定



日 程	行 事 内 容	開 催 場 所
12日(木)	陸運事業者のための安全マネジメント研修	郡山市「県中研修センター」
23日(月)	第6回理事会	郡山市「県中研修センター」
27日(金)	第2回交付金委員会	郡山市「県中研修センター」

陸 災 防 技能講習等実施予定

【フォークリフト運転技能講習】

開催地	講 習 開 催 日
学 科	実 技
郡 山①	2月 24(金) 1: 7(火) ~ 9(木) 2: 14(火) ~ 16(木) 3: 20(月) ~ 22(水)
いわき①	28(火) 1: 7(火) ~ 9(木) 2: 14(火) ~ 16(木) 3: 20(月) ~ 22(水)

【はい作業主任者技能講習】

開催地	講 習 開 催 日
いわき	2月 2(木) 3(金)

【安全衛生推進者養成講習】

開催地	講 習 開 催 日
郡 山	2月 6(月) 7(火)

【荷役災害防止担当者安全衛生教育講習】

開催地	講 習 開 催 日
郡 山	2月 15(水)

日程が変更になりました

【ショベルローダー等運転技能講習】

学科 開催地	講 習 開 催 日				
		学 科	実 技		
いわき	2月:3月	3/10(金)	いわき	1: 2/14(火) ~ 2/16(木)	2: 2/20(月) ~ 2/22(水)
				3: 3/ 1(水) ~ 3(金)	4: 3/7(火) ~ 3/9(木)

※ 講習に関する詳細はホームページでご確認ください。 <https://f-rikusai.org>

陸災防福島県支部

検 索

お知らせ 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は下記の通りとなります。

交通規則を守るとは、社会人としての基本的な責務です。

会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2022 年 (概 数)	発生件数	8	4	6	2	4	5	0	8	7	7	3		54
	死 者 数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		2
	傷 者 数	8	6	8	3	4	6	0	8	10	7	3		63



トラック広報 わだち1月号 (通巻504号)

2023年1月1日発行 (毎月1回1日)
編集発行 公益社団法人福島県トラック協会
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731
H.P <http://fukutora.la37n.com/>

